

授業科目名	老年看護学実習 I	担当教員	教授 原 祥子 他		
開講年次及び学期	3年 後期	必修・選択の別	必修		
開講形態	実習	時間数	135	単位数	3

授業の目的（概要）

加齢や疾病に伴う健康上の問題をもつ高齢者を理解し、多様な場で障がいをもちながら生活している高齢者とその家族に必要な看護を査定し実践するための基礎的な能力を修得する。また、継続看護および他職種・他部門との連携の必要性とチームにおける看護職の役割を理解するとともに、看護職者としての倫理観や高齢者観を養う。

学修成果（到達目標）

- 加齢や疾病に伴う健康上の問題をもつ高齢患者の個別性を身体的、精神・心理的、社会的、生活史の側面から説明できる。
 - 加齢に伴う高齢者の一般的特徴を理解できる。
 - 患者の生活史を理解したうえで、現在の身体的、精神・心理的、社会的状況について理解できる。
 - 患者の加齢や疾病に伴う健康上の問題を把握できる。
- 患者の心身の苦痛を理解するとともに、二次的障害のリスクを予測し、安全で安楽な療養生活が送れるように援助できる。
 - 患者の心身の苦痛を理解できる。
 - 患者の二次的障害のリスクを予測できる。
 - 患者の心身の苦痛緩和や二次的障害を予防するために必要な看護計画の立案、実施、評価ができる。
- 患者の自立と依存の欲求を理解し、その人に適した自立への援助ができる。
 - 患者の自立と依存の欲求を理解できる。
 - 自立に向けた看護計画の立案、実施、評価ができる。
- 患者の家族が抱える問題と必要な援助について説明できる。
 - 家族の状況および患者と家族との関係を把握できる。
 - 患者や家族の言動の意味を捉え、家族が抱える問題を把握し、必要な看護計画を立案できる。
- 継続看護の必要性を考察し、保健・医療・福祉の専門職者の連携や協働のあり方および看護者の役割を説明できる。
 - 入院患者にかかわっている職種・部門を理解し、今後の生活を支えるために必要な社会資源の活用について説明できる。
 - 他職種・他部門との連携・協働における看護者の役割について説明できる。
- 高齢者の人権を保証し、倫理的配慮のある看護について説明できる。
 - 倫理的ジレンマに気づき、その状況や背景要因を考え説明できる。
 - 倫理的ジレンマを解決するための方法について説明できる。

キーワード

老年看護、実習、自立支援、継続看護、連携・協働、倫理的配慮

授業の進め方

実習

成績評価の方法（合否基準）

実践内容、実習記録等の内容、実習態度の総得点を、100点満点に換算したうち、60点以上を合格とする。

教科書・参考書・視聴覚・その他の教材

オフィスアワー

原 祥子・加藤真紀・福岡理英（地域・老年看護学講座）質問等随時

モデル・コア・カリキュラムとの関連

- A-2-1)学修の在り方
- A-2-2)看護実践能力
- A-3-1)課題対応能力
- A-4-1)コミュニケーションと支援における相互の関係性
- A-5-1)保健・医療・福祉における協働
- A-6-1)ケアの質の保証
- A-6-2)安全性の管理
- B-3-2)看護における倫理
- D-1-1)看護の基礎となる対人関係の形成
- D-1-2)多面的なアセスメントと対象者の経験や望み（意向）に沿ったニーズ把握
- D-1-3)計画立案・実施
- D-1-4)実施した看護の評価
- D-2-2)看護実践に共通する看護基本技術
- D-2-3)日常生活の援助技術
- D-2-4)診断・治療に伴う援助技術
- D-3-4)老年期にある人々に対する看護実践
- D-4-2)急性期にある人々に対する看護実践
- D-4-3)回復期にある人々に対する看護実践
- D-4-4)慢性期にある人々に対する看護実践
- D-4-5)人生の最終段階にある人々に対する看護実践
- D-6-2)リスクマネジメント
- D-6-3)保健・医療・福祉チームにおける連携と協働
- F-1-1)臨地実習における学修
- F-1-2)臨地実習における学修の在り方
- F-2-1)看護過程に基づくケアの実践
- F-2-2)安全なケア環境の整備
- F-2-3)チームの一員としてのケア参画

授業計画

【実習場所】

島根大学医学部附属病院

【実習形態】

原則65歳以上の高齢患者を受け持ち、実習を行う。

		午 前	午 後
第1週	月	学内実習：実習オリエンテーション シミュレーション、タスク演習	シミュレーション、タスク演習 (フィジカルアセスメント、口腔ケア、清拭など)
	火	老年看護の看護過程を学ぶ DVD ー慢性心不全の患者事例ー	老年看護の看護過程を学ぶ DVD ー慢性心不全の患者事例ー グループワーク ディスカッション
	水	病棟オリエンテーション, 受け持ち患者の紹介 電子カルテ実習	電子カルテ実習
	木	病棟実習	病棟実習
	金	病棟実習	病棟実習
第2週	月	病棟実習	学内実習 関連図&看護計画立案に向けての合同検討会
	火	病棟実習	病棟実習
	水	病棟実習	病棟実習
	木	学内実習：看護計画・実践の整理	学内実習：ワークシートの合同検討会
	金	病棟実習	病棟実習
第3週	月	病棟実習	病棟実習
	火	病棟実習	病棟実習
	水	病棟実習	病棟実習 (老年看護学実習まとめのカンファレンス)
	木	学内実習：実習のまとめ（記録、レポートの整理）	
	金	学内実習：実習のまとめ（記録、レポートの整理）、個人面接、記録の提出	
備 考			
<ul style="list-style-type: none"> ・別に配布する「臨地実習の手引き」を参照のこと ・なお、フェーズが上がった場合には、実習内容を変更して実施する可能性があります。 			